

経営目標 教育目標	【学校経営目標】 全教職員が、主体的組織的に学校教育目標の達成に向かう学校づくり 【学校教育目標】 未来を切り拓く生徒の育成	めざす 生徒像	社会に貢献できる資質能力を身につけた生徒 ・「夢・実現」に向けて主体的に学び挑戦する生徒 ・郷土を愛し、世界に目を向ける生徒 ・神石高原中学校生徒の心得が実践できる生徒
--------------	---	------------	---

評価計画				自己評価							学校関係者評価			
中期経営 目標	短期経営目標	重点	目標達成の方策 (具体的な取組内容)	評価項目・指標	目標 値	時 期	達 成 値	評 価	達成状況	改善方策	評価			コメント
											イ	ロ	ハ	
確かな 学力	主体的な 学習を実現 し、学力の 向上を図る (自ら学ぶ 子)	1	生徒の主体的な学習を促す授業を展開し、学力向上を図る。 多様な機会を設定・推奨し、自己決定させることで生徒のチャレンジ精神を養う。	①標準学力調査における全国平均比較において各教科、同質集団で経年変化(+3P)(8/10教科) ②全国学力学習状況調査全国比較(+5P)(2/2教科) ③自学自習ノートの効果的な活用ができる生徒の割合(80%)	87%	中間	42.3	D	②全国学力 国語76(全国比+11.4P) 数学50(全国比-7.2P)。1/2-50% ③自学自習ノートの効果的な活用19人。19÷0.81=23.5 (50+23.5)÷2=36.8 36.8÷0.87=42.3	相互の授業観察を実施し、改善点を整理すると共に授業の改善を進める。効果的な自学自習ノートをお手本として示し、改善を促す。	○			特に数学の学力については、本校の継続した課題である。課題を洗い出し、小中連携して取り組んでほしい。
						最終	31.5	D	①標準学力調査 経年変化+3Pの達成(2/10教科)→20% ②全国学力 全国比+5P(1/2教科)→50% ③自学自習ノート下半期(16/81人)→12.3% (20+50+12.3)÷3=27.4 27.4÷0.87=31.5					
			・英検・数検・漢検への挑戦機会を提供する。 ・幅広い挑戦機会を創出し、参加についての自己決定場面をつくる。	①英検、数検、漢検の受験者割合(80%)(R2実績56%) ②3級合格者割合(受験者の50%)(3年時) ③各種挑戦機会への希望参加割合(90%)	73%	中間	46.3	D	①英検、数検、漢検の受験者38人。38÷0.81=46.9 ②3級合格者数8人。8÷0.23=34.8 ③各種挑戦機会への希望参加割合→16÷0.81=19.8 (46.9+34.8+19.8)÷3=33.8 33.8÷0.73=46.3	各検定共に本年度中にと一回の機会を設定しており、受験を推奨する。挑戦機会の創出と意欲付けにより、「自ら」動くことを促す。	○			コロナ禍においても挑戦機会を提供し、様々な声かけによって、生徒の挑戦を引き出したことは数字以上に評価できる。引き続き取組を進め、挑戦意欲の高い生徒を育ててほしい。
						最終	636	C	①英検、数検、漢検の受験者51名 51÷0.81=63.0 ②3級合格者数13人。13÷0.23=56.5 ③各種挑戦機会への希望参加割合→16÷0.81=19.8 (63+56.5+19.8)÷3=46.4 46.4÷0.73=63.6					
豊かな 心	社会に貢 献できる生 徒を育成す る(やさしく あたたかい 子)	2	地域に貢献できる生徒を育成する。 ボランティア活動を推奨し、貢献機会をつくり、意欲を高める。	・地域教材の活用や地域人材を招いての学習等、「地域を学ぶ」「地域で学ぶ」学習を実践する。 ・生徒会活動を中心としたボランティア活動を実行する。	87%	中間	89.5	B	①地域のこと好き(76.9%) ②地域のために何かしたい(79.7%) ③地域のことをもっと知りたい(77.2%) (76.9+79.7+77.2)÷3=77.9 77.9÷0.87=89.5	総合的な学習の時間、行事を通して体験機会、地域に出る機会を増やしている。(森林セラピー、ティアガルテン、炭焼き、現地調査等)	○			地域での学習や体験的な行事によって、生徒の地域に対する貢献意欲や愛着は育っていると。数値は中学生であればこれくらいではないか。大人が欲を出しすぎず、現状にあった目標設定をしてほしい。
						最終	91.5	B	①地域のこと好き(80.4%) ②地域のために何かしたい(81.0%) ③地域のことをもっと知りたい(77.5%) (80.4+81+77.5)÷3=79.6 79.6÷0.87=91.5					
			①生徒会が計画するボランティア活動へ一回以上参加する生徒(100%) ②将来、地域のために何か貢献しようと思う生徒の割合(80%)	90%	中間	88.8	B	①ボランティア参加生徒72人。72÷0.81=88.9 ②将来、地域のために何か貢献しようと思う(70.9%) (88.9+70.9)÷2=79.9 79.9÷0.9=88.8	年間であと3回のボランティア活動を計画している。また、臨時的ボランティア活動等、自発的に活動できる機会を設定する。	○			生徒会主催のボランティア活動にほほすべての生徒が参加できていることは大変素晴らしい。今後の是非継続して取り組んでほしい。	
					最終	94.6	B	①ボランティア参加生徒78人。78÷0.81=96.3 ②将来、地域のために何か貢献しようと思う(73.8%) (96.3+73.8)÷2=85.1 85.1÷0.9=94.6						
健やか な体	心と体の 成長を促す 健康教育を 推進する (しなやか でつよい 子)	3	他者との違いを認め、共に歩む集団を育成する。 様々な運動機会を創出し、体力づくりを進める。	・学期に一回以上のライフスキルトレーニングを実施する。 ・異年齢集団等の活用により行事づくりを進める。 ・体育的行事づくり、ランランtime、運動部活動(体力)強化週間、からだほくし週間等を通して、運動意欲と体力の向上を図る。	75%	中間	71.3	C	①自分にはよいところがあります(55.7%) ②自分のよさはまわりの人から認められていると思います(51.3%) (55.7+51.3)÷2=53.5 53.5÷0.75=71.3	計画通り実施に即したライフスキルトレーニングと行事等によってかわり合う機会を創っていく。	○			自己肯定感を育てる点について、今後の人生においてもとても必要だと言える。教職員からの言葉かけも重要である。生徒を褒めて、よい面をどんどん気づかせてやってほしい。
						最終	77.9	C	①自分にはよいところがあります(60.8%) ②自分のよさはまわりの人から認められていると思います(56.0%) (60.8+56.0)÷2=58.4 58.4÷0.75=77.9					
			①体力テスト(9/12項目) 男子1500m 全国平均+25秒以内 女子1000m 全国平均+35秒以内 男子長座体前屈 全国平均-3cm以内 女子長座体前屈 全国平均-5cm以内 ②運動しようとする意欲(75%)	75%	中間	113.0	A	①新体力テストの結果9/12(75%) ②運動しようとする意欲(94.9) (75+94.9)÷2=85 85÷0.75=113	一過性の体力評価だけではなく、運動習慣の定着と運動意欲の向上を図る。2種目については再実施し効果検証する。	○			体力向上には、継続して取り組んでほしい。本校の生徒の体力について、もっと問題視すべきだと思う。目標設定を低くして体力向上がしていると誤解を招かないよう気をつけてほしい。	
					最終	110.0	A	①新体力テストの結果9/12(75%) ②運動しようとする意欲(90.2) (75+90.2)÷2=82.6 82.6÷0.75=110.0						
働き方	教職員の ゆとりとや りがいを高 める	4	業務の効率化により超過勤務時間を削減する。 教職員のやりがいを高める。	・日課を工夫することによって、研修日、定時退校日、生徒早帰り日を設定し、業務のスリム化を図り業務改善を進める。 ・自己の興味や強みを生かした挑戦したいことを設定し、実行に向けた支援体制を整える。(業績評価へ挑戦事項を設定する)	80%	中間	18.8	D	①超過勤務平均45時間未満3人。3÷0.15=20 ②定時退校日全員達成2日。2÷0.2=10 (10+20)÷2=15 15÷0.8=18.8	カリキュラムの工夫により時間捻出する。業務内容を精選し、優先順位をつける。さらなる時間意識の向上を図る。	○			教職員一人ひとりの努力ではどうにもならない部分もあろうかと思う。教職員同士の協働、コミュニケーションによって少しでも改善が図られることを願っている。
						最終	36.5	D	①超過勤務平均45時間未満2人。2÷0.15=13.3 ②定時退校日全員達成9日。9÷0.2=45 (13.3+45)÷2=29.2 29.2÷0.8=36.5					
			①仕事に対するやりがい(14人/16人) ②職場に対する満足度(90%)	90%	中間	97.2	B	①仕事に対するやりがい(14人/16人) 14÷0.16=87.5 87.5÷0.9=97.2	業績評価の項目に対し、実効性の高い具体的な支援体制を整える。会話・対話を重視し、教職員同士の関係性を深めたい。	○			教職員がやりがいを感じることで育てよう役割分担をして、やりがいを育ててほしい。大人も褒められることで育っていくと思う。また、個人の時間の充実が活力となってよい仕事につながると思う。私生活も大切に過ごしてほしい。	
					最終	84.6	B	①仕事に対するやりがい(12人/16人)→75% ②相談できる12人(75%)人間関係の構築11人(68.8) 職場の雰囲気14人(87.5%) (平均77.1) (75+77.1)÷2=76.1 76.1÷0.9=84.6						